

熊本都市圏総合都市交通体系調査 2023年

第4回調査から約10年が経過し、交通状況に大きな変化が生じています。将来の都市圏交通のあり方を検討するにあたり、現況分析・将来予測及び現在のマスタープランの検証を行い、社会情勢の変化に対応した施策の見直しを行うため交通実態を把握するパーソントリップ調査を実施しています。

調査主体 熊本都市圏総合交通計画協議会（事務局：熊本県、熊本市）

調査対象圏域

調査対象地域は、熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町の5市6町1村の合計12市町村としています。設定にあたっては、前回（平成24年）調査対象エリアを基本とし、熊本市との結びつきの強さを重視して設定しています。

※“結びの強さ”とは

- ①熊本市への通勤通学800人以上
- ②熊本市への通勤通学依存率が15%以上



出典：令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書

図 調査対象地域

調査圏域人口 約109万人（令和5年7月1日時点）

調査手法

令和5年熊本都市圏パーソントリップ調査は、調査費用の縮減、及び調査の効率化を目的に郵送配布回収方式とし、若年層や単身世帯の回収率向上を目的に紙の調査票とWEBでの回答を選ぶことができるWEB回答方式を併用しています。



図 WEB回答併用回答方式

出典：令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書

調査手法（つづき）

精度確保に向けて、以下の取組を実施しています。

方策		具体的な対応
調査への信頼性の確保	首長のサイン・顔写真入り依頼状	県知事、熊本市長（熊本市のみ）の直筆サイン及び顔写真を添付した調査協力の依頼状を送付
	個人情報取り扱いの明記	調査協力の依頼状、調査のお願い及びホームページにおける個人情報の取扱いに関する明記
対象者の負担軽減	QRコードによる自動ログイン化	スマートフォン、タブレットの回答者がログインID、パスワードを入力しなくてよいQRコードを発行
	調査票の回答支援	移動の履歴を回答するにあたり、詳細な場所を検索しなくても済むように郵便番号、施設名、地図等による住所入力や経路探索システムを活用した移動経路の入力の省力化を実施
	回答者が選択可能な調査方法の充実	同一世帯で紙媒体での回答、WEBでの回答と好みに応じて回答可能なように設定
回収率の向上	Web回答者へのインセンティブの付与	WEB回答率を向上のために、WEB回答者に謝礼を進呈
	広報を用いた調査対象者以外のWEB調査	大々的に実施した広報を見た熊本都市圏居住者が自主的にWEB調査に協力してもらえるように、協議会ホームページにWEB調査（オープン回答）を開設
	WEB調査システムの改良	WEB調査システムを事務局関係者（約300名）でテストし、操作性、分かりやすさの視点から、複数人によるチェック、改良等を実施し、短時間で回答しやすいシステムを構築

調査体系

調査は、本体調査（世帯票、個人票）と付帯調査、補完調査から構成されています。

熊本都市圏総合都市交通体系調査 2023年

本体調査

今後の交通施策に適切に対応するため、都市圏の人の動きなど交通実態を把握する実態調査(パーソントリップ調査)を令和5年度に実施しています。

- 特徴
 - 世帯票にて、世帯収入に関する設問を設定
 - 個人票にて、代理回答者を把握する設問を設定。また、調査日における在宅勤務の有無と、在宅勤務の実施時間に関する設問を設定

付帯調査

付帯調査では、16歳以上の方を対象に本体調査では把握できない普段の生活などに関する調査を実施しています。

- 調査項目
 - ・私事活動の状況
 - 買物、通院、食事・社交・娯楽を対象に、概ね1か月での実施頻度、主な目的地、交通手段を把握
 - ・モバイル端末の利用状況
 - モバイル端末の所有状況、主に使用する端末、モバイル端末で行うことについて把握
 - ・外出頻度
 - 平日、休日それぞれでおよそ5年前と比べて、外出頻度の増減を把握し、減った人については、その理由を把握
 - ・公共交通を利用する際の困りごと
 - 公共交通を利用する際の困りごと、今後、身近にあったら良い・魅力的な移動支援サービスについて把握
 - ・自由記述
 - 熊本都市圏の交通に関する理想の姿や要望、現在感じている問題などの意見を把握

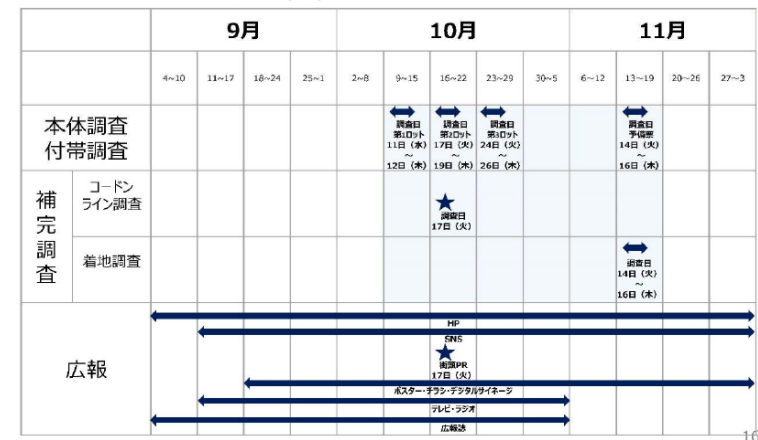
補完調査

- 補完調査は、コードンライン調査、着地調査をしています。(1)コードンライン調査
JR 熊本駅、阿蘇くまもと空港にて乗降客数調査、交通機関別利用者数調査、OD 調査を実施しています。
- (2)着地調査
パーソントリップ調査の標本数を向上させるために、セミコンテクノパークの2企業を対象に、本体調査と同様の調査を実施しています。

調査スケジュール

調査票の発送は3ロットに分割するとともに、第1ロットの返送状況を確認して予備ロットの投入を検討しながら、調査を実施しています。

表 詳細スケジュール



出典：令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書

標本設定の考え方

熊本都市圏では、「行政間 (12×12) 手段別 (5)」でOD量の精度を確保できるように、抽出率は2.4%以上を目標として調査を実施しています。

表 必要抽出率

区分	保証内容	カテゴリー数
OD精度	行政間 (12×12) 手段別 (5) のOD量	12×12×5=720
属性別トリップパターン	属性 (12) ×トリップパターン (11)	12×11=132
発生交通量	熊本市Cゾーン+その他Bゾーン (153) 目的別 (4) の発生交通量	153×4=612
発生交通量	熊本都市計画区域Cゾーン+その他Bゾーン (179) 目的別 (4) の発生交通量	179×4=716

必要抽出率=2.4%

総トリップ数=291万トリップ/日

カテゴリー数=720

出典：令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書より作成

回収率

調査実施により、目標回収率を上回る34.5%の回収を達成し、個人票の回収数も必要な標本率を上回る回収を達成しています。

表 本体調査の回収結果

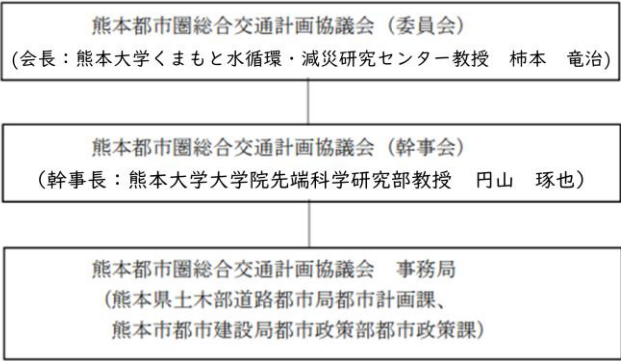
市区町村名	世帯票					個人票			
	①総世帯数 (R5.7.1)	②発送数	③回収数	④回収率 ③/②	⑤世帯 サンプル率 ③/①	⑥5歳以上人口 (R5.7.1)	⑦配布数	⑧回収数	⑨抽出率 ⑧/⑦
熊本市	357,118	33,804	11,922	35.3%	3.3%	700,750	67,910	20,995	3.0%
中央区	97,503	9,102	3,142	34.5%	3.2%	170,021	16,296	5,140	3.0%
東区	90,319	8,575	3,048	35.5%	3.4%	182,366	17,612	5,468	3.0%
西区	44,618	4,182	1,550	37.1%	3.5%	86,733	8,283	2,620	3.0%
南区	58,671	5,692	1,955	34.3%	3.3%	126,501	12,472	3,649	2.9%
北区	66,007	6,253	2,227	35.6%	3.4%	135,129	13,247	4,118	3.0%
菊池市	20,069	2,043	594	29.1%	3.0%	45,229	4,957	1,104	2.4%
宇土市	15,963	1,497	549	36.7%	3.4%	34,988	3,376	1,022	2.9%
宇城市	25,131	2,461	854	34.7%	3.4%	55,202	5,533	1,531	2.8%
合志市	25,886	2,447	847	34.6%	3.3%	60,644	5,794	1,661	2.7%
大津町	15,822	1,507	456	30.3%	2.9%	34,183	3,307	855	2.5%
菊陽町	18,536	1,748	596	34.1%	3.2%	40,701	3,845	1,170	2.9%
西原村	2,943	281	94	33.5%	3.2%	6,682	680	185	2.8%
御船町	7,492	705	236	33.5%	3.2%	16,439	1,587	418	2.5%
嘉島町	4,087	388	131	33.8%	3.2%	9,540	920	264	2.8%
益城町	14,186	1,338	405	30.3%	2.9%	32,129	3,189	787	2.4%
甲佐町	4,425	440	142	32.3%	3.2%	9,867	1,017	251	2.5%
都市圏計	511,658	48,659	16,826	34.6%	3.3%	1,046,354	102,115	30,243	2.9%

出典：令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書

検討体制

検討にあたっては、委員会、幹事会、事務局会議の3つを設置し、取り組んでいます。

表 検討体制



出典：令和5年度 街路交通調査 成果の概要

熊本都市圏総合都市交通体系調査 2023年

広報の取組

調査について幅広い層にPRし、第5回PT調査における回収率の向上を図ることを目的として、広報活動を行っています。広報の企画は協議会において行い、関係機関を通じてチラシの配布、ポスターの掲示等を実施しています。

①広報チラシの配布

協議会構成団体の関係機関、市町村、交通事業者等にチラシの配布を依頼するとともに街頭 PR イベントでの配布も実施。

②ポスターの掲示

行政関係施設、鉄道駅、バスターミナル等にポスターの掲示を依頼。

また熊本市電では、デジタルサイネージを活用した掲示も実施。

③ホームページ・広報誌への掲載

協議会事務局（熊本県、熊本市）の HP での PR、市町村の広報誌に情報を掲載。

④その他

テレビ・ラジオ番組での放送や熊本市内での街頭 PR 活動等を実施。



広報媒体の作成例（左：チラシ、右：広報誌）

出典：令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書

■パーソントリップ調査の説明状況



■チラシ配布状況



街頭PRの実施状況

出典：令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書



街頭PR実施時のスタッフ衣装・幟旗

出典：令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書



調査票

個人票、世帯票、普段の生活に関する調査（付帯調査）

熊本市

熊本市圏パーソントリップ調査

世帯票

(調査実施機関 熊本市圏総合交通計画協議会)

■ 記入についてお願い

- 記入は黒の筆記具で、世帯の代表者(世帯主)の方にお願いします。
- 回答は、の部分(回答欄)に記入してください。
- 回答欄に番号などがついている場合は、該当する番号などを○で囲んでください。
- 回答欄に○がついている場合は、表1 表2 から該当する数字を選んで記入してください。

この調査は、将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料を得ることを目的としており、集計した調査票の内容は、個人情報の取扱いに細心の注意を払ったうえで、活用させていただきます。

整理番号(記入は不要です)

問1
あなたの世帯の現住所(自宅)について、お答えください。
※マンション・アパート等集合住宅の名称・部屋番号までは不要です。

市町村
区

町字

丁目
番
号

※番地・号までご記入ください。
例) ○○市○○1丁目-1番-1号

問2
現在同居されている方 全員 について、お答えください。 ※いちばん左の欄に記載されている(何人目)かは、個人票の「問1」に記入する番号になります。

世帯構成人員	ア.性別	イ.年齢 令和5年 10月1日 現在	ウ.職業 表1から 選択	エ.就業形態 表2から 選択	オ.勤務先・通学先・通園先 「勤務先・通学先・通園先の所在地」と「現住所」が同じ場合は 回答欄に「現住所と同じ」と記載していただいても結構です。	カ.自動車運転 免許保有の 状況	キ.普段使用する自動車の有無 か「持っている」に ○をつけた人のみ (複数回答可)	ク.普段使用する自動車の種類 キで「1」は自分専用の 自動車に「2」を つけた人のみ
記入例	① 男 2 女	59 歳	3	2	勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 〇〇〇〇株式会社 熊本中央の町字 丁目 番 号 手取本 丁目 番 号	① 持っている 2 持っていない 3 返した	① ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない	① ガソリン車・ディーゼル車・ハイブリッド車 2 電気自動車 3 その他(欄に具体的に記入)
1人目 世帯主	1 男 2 女	歳			勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 区 町字 丁目 番 号	1 持っている 2 持っていない 3 返した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない	1 ガソリン車・ディーゼル車・ハイブリッド車 2 電気自動車 3 その他(欄に具体的に記入)
2人目	1 男 2 女	歳			勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 区 町字 丁目 番 号	1 持っている 2 持っていない 3 返した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない	1 ガソリン車・ディーゼル車・ハイブリッド車 2 電気自動車 3 その他(欄に具体的に記入)
3人目	1 男 2 女	歳			勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 区 町字 丁目 番 号	1 持っている 2 持っていない 3 返した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない	1 ガソリン車・ディーゼル車・ハイブリッド車 2 電気自動車 3 その他(欄に具体的に記入)
4人目	1 男 2 女	歳			勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 区 町字 丁目 番 号	1 持っている 2 持っていない 3 返した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない	1 ガソリン車・ディーゼル車・ハイブリッド車 2 電気自動車 3 その他(欄に具体的に記入)
5人目	1 男 2 女	歳			勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 区 町字 丁目 番 号	1 持っている 2 持っていない 3 返した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない	1 ガソリン車・ディーゼル車・ハイブリッド車 2 電気自動車 3 その他(欄に具体的に記入)
6人目	1 男 2 女	歳			勤務先・通学先・通園先の名称・建物名などを記入 市町村 区 町字 丁目 番 号	1 持っている 2 持っていない 3 返した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 カーシェアリング*に登録している 4 ない	1 ガソリン車・ディーゼル車・ハイブリッド車 2 電気自動車 3 その他(欄に具体的に記入)

問3
世帯で保有している自動車や二輪車の台数を
お答えください。

自動車
台

原付・バイク
台

自転車
台

シニアカー
台

問4
差支えなければ世帯の1年間の収入(年収)をお答えください。

1 200万未満
2 200~399万円
3 400~599万円
4 600~799万円
5 800~999万円
6 1,000~1,199万円
7 1,200~1,499万円
8 1,500万円以上
9 答えたくない・わからない

表1 職業

■ 職業をお持ちの方(パート・アルバイトを含む、学生は除く)

- 農林漁業、畜産、育種(林産物生産等含む)
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 食品製造、電子製品製造、工業製品製造等
- 電気、ガス、熱供給、水道業(上下水道業)
- 情報通信業
- 役所業、インターネット付随サービス等
- 運輸業、宅配(荷客運送、貨物運送、倉庫業等)
- 卸売業、小売業(各種商品の卸売・小売等)
- 金融業、保険業
- 銀行、金融商品取引、保険サービス等
- 不動産業、物品賃貸業(不動産取引、不動産管理等)
- 学術研究、専門・技術サービス業(法律事務所、会計士、広告業等)
- 療育施設、教育サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 接客、美容、スガーズ施設提供等
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 病院、保健衛生、社会福祉事業等
- 複合サービス事業
- 郵便業、通信、情報提供等
- サービス業(他に分類されないもの)(自動車修理、職業紹介、政治団体、廃棄物処理事業等)
- 公務員(国家公務員、地方公務員)
- その他(欄に具体的に記入)

表2 就業形態

■ 職業をお持ちでない方

- 園児・小学生・中学生
- 高校生
- 大学生・短大生・各種専門学校生
- 主婦・主夫(職業従事者を除く)
- 無職
- その他(欄に具体的に記入)

表2 就業形態

■ 職業をお持ちの方のみ

- 自営業主・家族従業者
- 正規の職員・従業員
- 派遣社員・契約社員等
- パート・アルバイト
- 会社等の役員
- その他(欄に具体的に記入)

※お持ちでない方は、0台とご記入ください。

※カーシェアリングとは、会員登録をして好きなときに車を借りることができるサービスのこと

ご不明な点は調査実施本部までお問い合わせください（フリーダイヤル：0120-055-096 受付時間：午前9時～午後6時、日・祝日を除く）

世帯票

出典：令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書

個人票、世帯票、普段の生活に関する調査（付帯調査）

	表1 移動目的			
4番目の移動	7. 目的地 1 自宅 2 勤務先・通学先・通園先 3 それ以外（それ以外の場合は【住所】または【施設名称】） 市町村 町字 丁目 番地 号 施設名称 4. 移動目的 表1 から選択			
	8. 出発時刻: 1 午前 2 午後 時 分 到着時刻: 1 午前 2 午後 時 分 I. 交通手段 表2 から選択し、利用した順番に記入 徒歩 自転車 乗車駅 駅 降車駅 駅 路線電車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 を利用した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 自動車を運転した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 あなたが運転: 1 はい 2 いいえ 何人乗りましたか? : あなたの 台数で 人			
5番目の移動	7. 目的地 1 自宅 2 勤務先・通学先・通園先 3 それ以外（それ以外の場合は【住所】または【施設名称】） 市町村 町字 区 丁目 番地 号 施設名称 4. 移動目的 表1 から選択			
	8. 出発時刻: 1 午前 2 午後 時 分 到着時刻: 1 午前 2 午後 時 分 I. 交通手段 表2 から選択し、利用した順番に記入 徒歩 自転車 乗車駅 駅 降車駅 駅 路線電車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 を利用した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 自動車を運転した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 あなたが運転: 1 はい 2 いいえ 何人乗りましたか? : あなたの 台数で 人			
6番目の移動	7. 目的地 1 自宅 2 勤務先・通学先・通園先 3 それ以外（それ以外の場合は【住所】または【施設名称】） 市町村 町字 区 丁目 番地 号 施設名称 4. 移動目的 表1 から選択			
	8. 出発時刻: 1 午前 2 午後 時 分 到着時刻: 1 午前 2 午後 時 分 I. 交通手段 表2 から選択し、利用した順番に記入 徒歩 自転車 乗車駅 駅 降車駅 駅 路線電車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 を利用した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 自動車を運転した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 あなたが運転: 1 はい 2 いいえ 何人乗りましたか? : あなたの 台数で 人			
7番目の移動	7. 目的地 1 自宅 2 勤務先・通学先・通園先 3 それ以外（それ以外の場合は【住所】または【施設名称】） 市町村 町字 区 丁目 番地 号 施設名称 4. 移動目的 表1 から選択			
	8. 出発時刻: 1 午前 2 午後 時 分 到着時刻: 1 午前 2 午後 時 分 I. 交通手段 表2 から選択し、利用した順番に記入 徒歩 自転車 乗車駅 駅 降車駅 駅 路線電車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 を利用した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 自動車を運転した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 あなたが運転: 1 はい 2 いいえ 何人乗りましたか? : あなたの 台数で 人			
8番目の移動	7. 目的地 1 自宅 2 勤務先・通学先・通園先 3 それ以外（それ以外の場合は【住所】または【施設名称】） 市町村 町字 区 丁目 番地 号 施設名称 4. 移動目的 表1 から選択			
	8. 出発時刻: 1 午前 2 午後 時 分 到着時刻: 1 午前 2 午後 時 分 I. 交通手段 表2 から選択し、利用した順番に記入 徒歩 自転車 乗車駅 駅 降車駅 駅 路線電車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 を利用した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 自動車を運転した方 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 有線軌道車 あなたが運転: 1 はい 2 いいえ 何人乗りましたか? : あなたの 台数で 人			

表2 交通手段

- 徒歩・自転車
 - 1お車（免許・シニアカー含む）
 - 2自転車（個人所有）
 - 3レンタルサイクル/シェアサイクル
 - 4原動機付自転車（50cc以下）
 - 5自動車二輪車（50ccを超える）
- 自転車
 - 6タスクー・ハイヤー
 - 7レンタカー・カーシェアリング
 - 8乗用車・軽乗用車
 - 9貨物自動車、軽貨物車（ライセンス不要）
- バス
 - 10自家用バス・貸切バス（送迎バスを含む）
 - 11路線バス・コミュニティバス
 - 12乗合タクシー
 - 13高速バス・都市間バス
- 鉄道・路面電車
 - 14JR新幹線
 - 15JR在来線
 - 16熊本電鉄（鉄道）
 - 17市電（路面電車）
- その他
 - 18船舶
 - 19航空機
 - 20その他

9番目以降の移動がある方は
調査実施本部
(フリーダイヤル)0120-055-0960
にお申し出ください。

翌日午前3時までには帰宅した人は、自宅に戻るまでの移動も記入してください。

調査票

個人票、世帯票、普段の生活に関する調査（付帯調査）

秘 熊本都市圏パーソントリップ調査

普段の生活などに関する調査

(調査実施機関: 熊本都市圏総合交通計画協議会)

■この調査は「世帯票・個人票」と併せて、普段の生活などに関することとお聞きし、将来の都市交通に関する方針や施策などを検討するための基礎資料を得ることを目的としています。集計した調査票の内容は、個人情報取り扱いに細心の注意を払ったうえで、活用させていただきます。

■記入についてのお願い

- この調査は、16歳以上(令和5年10月1日現在)の方がお答えください。
- 右の個人番号欄にあなたが「世帯票」で「世帯」に該当するかご記入ください。
- 回答は【 】の部分(回答欄)に記入・記載してください。(記入例: 月に【 2 】日)
- 回答欄に番号などがついている場合は、該当する番号などを○で囲んでください。(記入例: ①)

個人番号
(世帯票)の何人目に該当
しますか。)

○人目

問1 あなたの最近(概ね直近1ヶ月)の私事活動の状況についてお伺いします。

私事活動種類	最近の実施頻度 ※実施していない場合は【0】日 と記入してください。	その私事活動で外出する際の主な目的地(各2つまで記載可) ※よく訪れる場所をできるだけ具体的にお答えください 【例: スーパー ● ● 熊本東店、熊本城ホール、健康駅近くの病院 など】	外出時の主な交通手段 (選択肢 1 から1つ選択) ※「10.その他」を選択された場合は具体的にご記入ください。
買 物	月に【 】日	名称①【 】 名称②【 】	①の交通手段【 】【具体的に: 】 選択肢 1 ②の交通手段【 】【具体的に: 】 6.バイク
通 院	月に【 】日	名称①【 】 名称②【 】	①の交通手段【 】【具体的に: 】 7.市電(路面電車) ②の交通手段【 】【具体的に: 】 8.鉄道(JR、電鉄)
食事・社交・娯楽	月に【 】日	名称①【 】 名称②【 】	①の交通手段【 】【具体的に: 】 9.タクシー ②の交通手段【 】【具体的に: 】 10.その他

問2 あなたのモバイル端末の利用状況についてお伺いします。

①モバイル端末(例: 携帯電話、スマートフォン、タブレットなど)の
所有状況についてお答えください。(1つ選択)

1. 持っている ⇒ ②へ 2. 持っていない ⇒ 問3へ

②主に使用するモバイル端末をお答えください。(1つ選択)

1. スマートフォン 2. 携帯電話(いわゆる「ガラケー」)
3. スマートウォッチ 4. タブレット端末
5. モバイルパソコン 6. その他【具体的に: 】

③モバイル端末で行うことをお答えください。(複数回答可)

1. 通話・メール
2. WEBサイト閲覧・動画視聴
3. 決済(買物)
4. 決済(公共交通支払い)
5. SNS(情報入手)
6. SNS(情報発信)
7. その他【具体的に: 】

問3 ここ1ヶ月のあなたの外出頻度などについてお伺いします。

①およそ5年前と比べて外出頻度(増減)をお答えください。また、5年前と比べ外出頻度が「減った」方は、その理由についてもお答えください。
(平日・休日のそれぞれでお答えください。) ※外出については、通勤・通学によるものも含めてください。

【平日】

・外出頻度: 5年前と比べて(1つ選択)
⇒ 【 1. 減った 2. 変わらない 3. 増えた 】

・現在、週に約【 】日外出している(数値を記載)

・外出頻度が「減った」方(主なもの上位3つまで記載)
⇒ その理由(選択肢2から記載)【 】
※ 9.その他 を選んだ方【具体的に: 】

【休日】

・外出頻度: 5年前と比べて(1つ選択)
⇒ 【 1. 減った 2. 変わらない 3. 増えた 】

・現在、週に約【 】日外出している(数値を記載)

・外出頻度が「減った」方(主なもの上位3つまで記載)
⇒ その理由(選択肢2から記載)【 】
※ 9.その他 を選んだ方【具体的に: 】

選択肢 2 ※外出が「減った」方のみ回答

1. インターネットで生活が完結するから
2. コロナの影響で外出を控えているから
3. 屋内で活動(読書・ゲーム等)したいから
4. 外出する移動手段がないから
5. 外出する暇がないから・面倒だから
6. 以前に比べ体力が落ちたから
7. お金を浪費したくないから
8. 免許を返納したから
9. その他

問4 外出にあたって公共交通を利用する際の困りごとなどについてお尋ねします。

①公共交通を利用する際の困りごとの有無を教えてください。(1つ選択)

1. 困りごとがある ⇒ ②へ 2. 困りごとはない ⇒ ③へ

②お困りの内容を教えてください。(主なもの上位3つまで選択)

1. 運転できない・運転を頼める人がいない
2. 近くにバス停や駅がない
3. 公共交通の運行本数が少ない・目的地までの便がない
4. 公共交通が時刻表通りにこない
5. 公共交通の料金が安い
6. 乗換えが面倒
7. その他【具体的に: 】

③今後、身近にあったら良い・魅力的な移動支援のサービスを教えてください。
(主なもの上位3つまで選択)

1. 一定の料金でバス・電車が乗り放題になる制度(サブスクリプション・サービス^{※1})
2. 大型のタクシーなどが安い相乗り料金で地域の中をまわるサービス
3. 足腰の弱い人や車いすの人などを自動車で目的地まで運び用務を手伝うサービス
4. 補助的な交通手段(電動カート・シェアサイクルなど)を貸し出すサービス
5. スマートフォンのアプリ1つで目的地までの検索や決済ができるサービス
6. 近くに交通機能が集約された施設^{※2}などが整備される
7. その他【具体的に: 】
8. 特になし

※1 サブスクリプション・サービス: 定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービス
※2 様々な交通モード(カーシェアリング、シェアサイクルなど)の貸し出し・接続・乗換拠点

問5 熊本都市圏の交通に関する理想の姿や要望、現在
感じていらっしゃる問題などご意見がございましたらご自由に記入ください。

質問は以上で終わります。ご協力ありがとうございました。ご不明点は調査実施本部までお問合せください。(フリーダイヤル: 0120-055-096 受付時間: 午前9時～午後6時、日・祭日を除く)

付帯調査票

出典: 令和4年度 熊本都市圏総合都市交通体系調査 報告書

熊本市圏総合都市交通体系調査 2023年

各種調査物件

調査の予告（お願い）はがき、調査協力のお願い、調査のご説明、個人票の記入にあたって、お礼兼督促状、発送用封筒、返信用封筒

熊本市圏
料金別納
郵便

郵便はがき

〒00000000

【調査主体】
熊本県土木部道路都市局都市計画課（還付先）
〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

熊本市都市建設局都市政策部都市政策課
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号

【問合せ先】
熊本市圏総合交通計画協議会 調査実施本部
フリーダイヤル 0120-055-096
（午前9時～午後6時、日・祝日除く）

実施期間
令和5年
10月～11月

熊本市圏
パーソントリップ調査

あなたの1日の動きを
教えてください!!

アンケートに
協力
よろしく!

この調査は将来の交通計画や住みよきまちづくりを考える
大切なデータになります。

調査対象地域 5市6町1村
熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、大津町、
菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町

詳しくは 熊本PT調査 <https://kumamoto-pt.jp>

パーソントリップ調査へのご協力のお願い

熊本県並びに熊本市では、熊本市圏（5市6町1村）を対象に本年10月から11月にかけてパーソントリップ調査（交通実態調査）を実施します。

この調査は、日頃の生活の中で、いつ、どこに、何の目的で、どのような交通手段で移動したかをあなただけのデータとして記録することです。

調査結果は、少子高齢化などの社会情勢の変化を踏まえた将来の交通のあり方を検討する貴重なデータとなります。

調査は、熊本市圏にお住まいの約5万世帯にお願いするものですが、このたび、世帯を無作為に選ばせていただいたところ、あなたのご家庭にお願いすることとなりました。

つきましては、本ハガキの到着から約2週間後にパーソントリップ調査票が郵送されますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年9月

熊本県土木部道路都市局都市計画課
熊本市都市建設局都市政策部都市政策課

実施期間
令和5年
10月～11月

熊本市圏
パーソントリップ調査

あなたの1日の動きを
教えてください!!

アンケートに
協力
よろしく!

この調査は将来の交通計画や住みよきまちづくりを考える
大切なデータになります。

調査対象地域 5市6町1村
熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、大津町、
菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町

詳しくは 熊本PT調査 <https://kumamoto-pt.jp>

パーソントリップ調査へのご協力のお願い

熊本県並びに熊本市では、熊本市圏（5市6町1村）を対象に本年10月から11月にかけてパーソントリップ調査（交通実態調査）を実施します。

この調査は、日頃の生活の中で、いつ、どこに、何の目的で、どのような交通手段で移動したかをあなただけのデータとして記録することです。

調査結果は、少子高齢化などの社会情勢の変化を踏まえた将来の交通のあり方を検討する貴重なデータとなります。

調査は、熊本市圏にお住まいの約5万世帯にお願いするものですが、このたび、世帯を無作為に選ばせていただいたところ、あなたのご家庭にお願いすることとなりました。

つきましては、本ハガキの到着から約2週間後にパーソントリップ調査票が郵送されますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年10月

熊本県土木部道路都市局都市計画課
熊本市都市建設局都市政策部都市政策課

熊本市圏にお住まいの皆様へ

熊本市圏パーソントリップ調査へのご協力のお願い

日頃から、熊本県政並びに熊本市政に協力のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

熊本県、熊本市では学識経験者、国、関係市町村、関係団体等で構成される「熊本市圏総合交通計画協議会」を設立し、熊本市圏における望ましい交通のあるべき姿を目指して、関係機関が連携して総合的な都市交通に関する検討及び協議を進めてまいります。

今回、熊本市を含む9市6町1村（熊本市圏）にお住まいの方から無作為に抽出した約5万世帯の方（世帯を構成する全世帯の全世帯の方）を対象に日頃の交通実態をお尋ねすることとなりました。

調査結果は、今後の道路整備や鉄道・バスなどの公共交通のあり方など、将来のまちづくりや交通計画を検討する貴重なデータとして活用してまいります。

なお、調査の過程で得られる個人情報については、関連する法令等に基づき厳密に管理しております。ご回答いただいた内容は、この目的以外には使用せず、統計的に処理し個人が特定されるようなことはございません。

また、調査票については調査終了後、熊本県と熊本市が責任を持って処分いたしますので、ご安心ください。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、この調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年10月

熊本県知事 南有知 大 熊本市長 大西一史

熊本市圏パーソントリップ調査

よくあるご質問

Q パーソントリップ調査とは？

A 日頃の生活の中で、誰が、どこに、何の目的で、どのような交通手段で移動したか、「みなさま（パーソン）」の「1日の動き（トリップ）」を調査するものです。

1日の動き
（トリップ）
会社員の場合
（トリップ）
1つの目的地による動き
（この場合は自宅から勤務先へ）
自宅 → 勤務先 → 自宅
2つの目的地による動き
（この場合は自宅から勤務先へ、その後別の目的地へ）
自宅 → 勤務先 → 別の目的地 → 自宅
3つの目的地による動き
（この場合は自宅から勤務先へ、その後別の目的地へ、さらに別の目的地へ）
自宅 → 勤務先 → 別の目的地 → 別の目的地 → 自宅

Q どうして我が家が選ばれたの？

A この調査は、総務省に届け出た公的な統計調査です。お住まいの市町村で厳正な審査を行った上で、住民基本台帳を閲覧しています。

Q 子供や自分で回答記入等できない家族は、回答しなくてもいい？

A お手数ですが、ご家族の方で調査日の状況を聞き取る等をして頂いて、回答のご協力をお願いします。

Q 個人情報情報が漏れたりしない？

A 調査の過程で得られる個人情報については、関連する法令等に基づき厳密に管理しております。

Q この調査は何の役に立つの？

A 調査結果は、今後の道路整備や鉄道・バスなどの公共交通のあり方など将来のまちづくりや交通のあり方を検討する貴重なデータとなります。

熊本市圏の将来交通計画や都市交通マスタプランを策定すること、都市交通における個別課題への対応、特定施設の計画に関する検討等により、熊本市圏の将来のまちづくり計画に役立てることができると見込まれています。

その他詳しいお問合せは、ホームページをご覧ください。熊本市圏総合交通計画協議会 調査実施本部までお願いします。

フリーダイヤル 0120-055-096
（午前9時～午後6時、日・祝日除く）

【熊本市圏総合交通計画協議会事務局】
〒860-0000 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

調査の予告（お願い）はがき（熊本市用）

調査協力のお願い（熊本市用）

各種調査物件

調査の予告（お願い）はがき、調査協力のお願い、調査のご説明、個人票の記入にあたって、お礼兼督促状、発送用封筒、返信用封筒

調査のご説明 はじめにお読みください

この封筒に入っているもの

- ① 熊本都市圏パーソントリップ調査ご協力のお願い
- ② 調査のご説明（このチラシ）
- ③ 個人票の記入にあたって／個人票の記入例（表裏）
- ④ 調査票（回答用紙です。【世帯票】・【個人票】・【普段の生活などに関する調査】についてご回答ください。）
- ⑤ 返信用封筒
- ⑥ ボールペン（調査票の記入やメモ書き等にご活用ください。）

【回答の流れ】

回答の依頼

10月～11月にかけて調査依頼および調査票等が郵送されてきます。

インターネット（スマートフォンやパソコン等）で回答

調査回答ページ（<https://kumamoto-pt.jp/websv/>）にアクセスし、画面表示にしたがって回答してください。（以下のQRコードを読み込んでいただくか、URLを直接入力して、調査回答ページにアクセスしてください。）

同封の調査票で回答

郵送された調査票に記入してください。

調査票を返送

ご記入いただいた調査票を同封した返信用封筒にてご返送ください。なお、切手は不要です。

終了

回答方法・回答期限について

インターネット（推奨）または、同封した調査票のいずれかの方法で回答期限内にご回答ください。

回答を頂く調査日

【個人票】の移動に関する回答は、以下の調査日のいずれか1日をご記入ください。

調査日（以下のいずれか1日）

推奨 方法① インターネット（スマートフォンやパソコン等）で回答する方法

以下の「調査回答ページのアドレス」にアクセスいただき、ログインIDとパスワードを入力の上、ご回答ください。QRコードを読み込んでいただく、ログインID、パスワードの入力は不要です。（インターネットでご回答いただく際は、世帯主の方が、一度にまとめて入力いただくとスムーズです。）

調査回答ページはこちら

調査回答ページのアドレス <https://kumamoto-pt.jp/websv/>

あなたの世帯のログインID・パスワード

※本紙のログインID、パスワードを紛失しないよう十分ご注意ください。
本紙を破棄される際についても十分注意して破棄してください。

裏面もご覧ください→

方法② 同封の調査票を使って回答する方法

ご記入いただいた【世帯票】・【個人票】・【普段の生活などに関する調査】を同封した返信用封筒にてご返送ください。



【世帯票】×1枚（世帯構成人員が7人以上の世帯には2枚）

- ・世帯主の方が代表でご回答ください。
- ・世帯全員についてご記入ください。（5歳未満の方も対象です。）



【個人票】×人数分（5歳以上（令和5年10月1日現在）の枚数

- ・世帯全員のうち、5歳以上（令和5年10月1日現在）の方が対象です。ひとり1枚ずつご記入ください。（小さいお子様やご自身で記入が難しい方は、ご家族の方が「1日の動き」をお聞きになって代筆いただいても構いません。）
- ・記入例を参考に、調査日の1日の移動について、一人ひとりご記入ください。※回答を頂く調査日に移動されていない方も対象です。

【普段の生活などに関する調査】

×人数分（16歳以上（令和5年10月1日現在）の枚数

- ・世帯全員のうち、16歳以上（令和5年10月1日現在）の方が対象です。ひとり1枚ずつご記入ください。（ご自身で記入が難しい方は、ご家族の方が「普段の生活など」をお聞きになって代筆いただいても構いません。）

パーソントリップ調査について

熊本都市圏総合交通計画協議会のホームページにパーソントリップ調査についての詳しい説明を掲載しております。併せてご覧ください。

熊本都市圏総合交通計画協議会HP <https://kumamoto-pt.jp>

熊本PT調査 検索

調査内容・記入方法等についてのお問合せ先

熊本都市圏総合交通計画協議会 調査実施本部

TEL：フリーダイヤル 0120-055-096
（午前9時～午後6時、日・祝日を除く）

■ 調査主体：熊本県土木部道路都市局都市計画課
熊本都市建設局都市政策部都市政策課

■ 構成市町村：熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町

推奨 方法① インターネット（スマートフォンやパソコン等）で回答 いただいた方全員に、

選べる電子マネーギフト(100円分)をプレゼント!!

注意事項

- ・調査回答終了後に謝礼進呈用のメールアドレスの入力が必要です。メールアドレスは各世帯で1つご入力ください。
- ・WEB調査にご協力いただきましたご家族の人数分の電子マネー等を、メールアドレス宛に送付いたします。
- ・ご入力いただいたメールアドレスは、選べる電子マネーギフト進呈のみに使用し、その他の目的では一切使用しません。
- ・調査結果の整理が出来次第、謝礼進呈のメールを送付させていただきます。（令和6年1月頃）

※本調査において、国や地方公共団体の職員、調査員等が調査の依頼や調査票回収のため、ご自宅への訪問や、電話・電子メールでの調査の依頼、個人や世帯の情報の聞き取りを行うことは絶対にありません。統計調査をかたてて世帯の情報を搾取る行為にご注意ください。

調査のご説明

各種調査物件

調査の予告（お願い）はがき、調査協力をお願い、調査のご説明、個人票の記入にあたって、お礼兼督促状、発送用封筒、返信用封筒

熊本東局
料金別納
郵便

郵便はがき

【調査主体】
熊本県土木部道路都市局都市計画課〔返送先〕
〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

熊本市都市建設局都市政策部都市政策課
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号

【問合せ先】
熊本都市圏総合交通計画協議会 調査実施本部
フリーダイヤル 0120-055-096
(午前9時～午後6時、日・祝日除く)

熊本都市圏パーソントリップ調査
ご協力へのお礼

時下ますます清栄のこととお喜び申し上げます。
過日、郵便にてお送りさせていただきました「熊本都市圏
パーソントリップ調査」にご協力いただきありがとうございます。

ご回答いただきました内容は、将来のまちづくりや交通の
あるべき姿を検討するために使用させていただきます。

皆様方には、お手数をおかけいたしましたが、本状を
もってお礼にかえさせていただきます。

なお、まだご回答いただいていない方におかれましては、
お忙しい中、誠に申し訳ありませんが、調査へのご理解を
いただきまして、是非ご協力くださいますよう、重ねてお願い
申し上げます。（調査日（『調査のご説明』に記載）と
同じ曜日であれば、今週の行動をご記入いただいても構い
ません。個人票には、変更した調査日をご記入ください。）
令和5年10月

熊本県土木部道路都市局都市計画課
熊本市都市建設局都市政策部都市政策課

ご不明な点などのお問合せにつきましては、
下記までお願いいたします。

熊本都市圏総合交通計画協議会 調査実施本部
フリーダイヤル：0120-055-096
(午前9時～午後6時、日・祝日を除く)

お礼兼督促状（熊本市用）

熊本東局
料金別納
郵便

転送不要

熊本都市圏
パーソントリップ
調査
調査票在中

熊本都市圏パーソントリップ調査にご協力ください。

アンケートに協力
よろしくま！

【調査主体】
熊本県土木部道路都市局都市計画課
〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

発送用封筒（熊本市用）

8628790

熊本東郵便局留
〔熊本市中央区水前寺6丁目18番1号〕

熊本県土木部道路都市局都市計画課
行

ご協力ありがとうございます。切手を貼らずにご投函ください。

返信用封筒